On the minimality of canonically attached singular Hermitian metrics on certain nef line bundles

小池 貴之

東京大学

March 24, 2015

1 興味

2 主結果について

① 興味

2 主結果について

興味

- X:(射影的)非特異複素多様体
- L: X 上の正則直線束

定義1

Lが(強)ネフであるとは、任意のコンパクト曲線 $C \subset X$ に対し、交点数 L.C が非負(正)なること.

定義 2

Lが半正であるとは, Lの C^{∞} エルミート計量であって, 半正曲率を持つものが存在すること.

事実 3

L: 半正 \Longrightarrow L: ネフ.

例 4 ([DPS94], ネフ ⇒ 半正)

非特異楕円曲線 C上の自明束 1_C の 1_C による非自明な拡大を E とする. E に対応する線織面 $X := \mathbb{P}(E)$ 上の相対超平面束 L は、ネフだが半正でない.

問題 5

ネフ直線束Lは、いつ半正となるか? さらにLが半正でないとき、その"極小特異エルミート計量" はどのような特異性をもつか?

1 興明

2 主結果について

知られていたこと/主結果

- [DPS01]... 極小特異エルミート計量の定義と、その存在証明 (X がコンパクトで L が擬有効なとき).
- [DPS94]... 例 4 の L に入る, 半正曲率を持つ特異エルミート計量全てを決定.

主結果

Xを非特異複素曲面, $C \subset X$ を埋め込まれたコンパクト複素曲線として, $c_1(N_{C/X}) = 0$ なるものとする. この (C,X) が上田 [U83] の意味で有限型であるならば, 直線束 [C] の特異エルミート計量 $|f_C|^{-2}$ は極小特異エルミート計量である. ここで $f_C \in H^0(X,[C])$ は標準切断である. 特に, [C] は半正でない.

- "(C,X) が上田 [U83] の意味で有限型である"とは、C の管状近傍 V に対し、 $\widetilde{N}|_{C}=N_{C/X}$ なる V 上の平坦東 \widetilde{N} と直線束 [C] とが、C まわり有限次の jet のレベルで相異なるということ.
- 主結果を証明するためには、一般の半正曲率を持つ [C] の特異エルミート計量 h と、 $|f_C|^{-2}$ との特異性の比較を行うことが必要.
- そのために, 関数 $\Psi := -\log \frac{h}{|f_c|^{-2}}$ が, $X \setminus C$ 上定義 された多重劣調和関数となることに着目.
- このΨに, (C 近傍)\C 上の多重劣調和関数の, C での増大度に関する上田の定理 [U83] を適用する ことで、主結果が示される.

1 興味

2 主結果について

応用その1 ([DPS94]の例の一般化)

定理 6 (Neeman)

次の(C,X)は、上田[U83]の意味で有限型である.

- 非特異コンパクト曲線 C_0 上の $c_1(F) = 0$ なる直線 東 F による自明東 1_{C_0} の拡大を E とする: $0 \to F \to E \to 1_{C_0} \to 0$. この完全列が分裂しない とき, $X := \mathbb{P}(E)$ と $X \to C_0$ の切断 C.
- C_0 を種数 2 の非特異コンパクト曲線, $C_0 \hookrightarrow Y$ を その Jacobian とする. 超楕円対合で移りあう二点 $p,q \in C_0$ での Y の爆発 X と, C_0 の強変換 C.

主結果からの帰結として、以上の(C,X)に対し、直線束[C]はネフだが半正でないことが分かる.

応用その2 (半正 v.s. 強ネフ)

問題 7 (藤野)

Lが強ネフなとき、Lは半正か?

 [F13] で藤野は、三次元射影多様体 X とその上の強 ネフ直線束 L として、"強ネフだが半正でない例の 候補"を構成 ([F13, Example 5.9]).

問題 8 ([F13, Question 5.10])

[F13, Example 5.9]の L は半正か?

• 主結果の応用として, [F13, Example 5.9] の L の極 小特異エルミート計量が決定でき, 結果としてこの L が半正でないことが分かった.